

「お聖堂の保存整備」に向けた寄附（ジュリー教育基金への寄附）のお願い

ノートルダム清心中・高等学校校長 神垣しおり
ノートルダム清心中・高等学校翠松会会長 奥原大二郎
ノートルダム清心中・高等学校同窓会会長 岩崎 恵子

1 旧聖堂・旧修道院について

本校敷地内にある旧聖堂（通称「お聖堂（おみどう）」）・旧修道院をご存じでしょうか？

本校は、19世紀初頭、女子教育を志す聖ジュリー・ビリアートが創立し、現在、世界約20ヶ国で教育活動を行うナミュールノートルダム修道女会によって1950年に設立されました。旧聖堂と旧修道院は、本校創設の原点ともいえ、専門家より、次のように高い評価を受けています。

- ・ 広島の後復興期を象徴する歴史的価値の高い建造物である
- ・ 建物内部は細部にわたって職人の手作業による魅力あふれる作りで、本校のアイデンティティ（キリスト教世界）を直接体感できるシンボル性の高い建物である

建物の老朽化が進むなか、今般、ナミュールノートルダム修道女会様の多大なるご支援により、旧聖堂については保存・耐震工事を実施いただけることとなりました。また、旧修道院の居住部分は解体し、本校において跡地や周辺通学路等の整備を実施することとなりました。

本校は、2018年2月にノートルダムホールを新築し、ICT環境の整備など教育環境の整備を進めているところですが、一方で少子化が進むとともに、国際化への対応、更なるICT環境整備など経営環境は厳しいものとなっております。本校の現状につきご理解をいただきますとともに、お聖堂の保存整備に向けて、ぜひともご寄附を賜りたく、ご協力をお願い申し上げます。

2 寄附金の使途先

寄附金は、「ジュリー教育基金」として積み立て、基金運営協議会で使途先を決定し、その内容を毎年度ホームページに掲載します。

本校では、お聖堂の保存整備以外にも、老朽化が進むクビリーホール、ボイラーの故障などさまざまな修繕を要する中学校舎（1967年落成）・高校校舎（1982年落成）の整備が求められており、また昨今の経済情勢から、経済的理由により就学が困難な生徒の就学の途を開くための支援の必要性も高くなっております。

このため、寄附金は次の事業に充てさせていただくことを予定しています。

- (1) 旧修道院跡地及び周辺整備
- (2) 教育施設・設備の充実
- (3) 経済的理由により就学が困難な生徒への支援
- (4) 創立記念行事等

3 寄附金のお申込み

- (1) 寄附金は、1口5千円 何口でもご寄附いただけます。
- (2) 寄附のお申し込み方法は、①インターネットからのお申込み（(株)エフレジの「F-REGI 寄付支払い」サイトでのお手続きとなります。）、②銀行でのお振込み、③学校窓口でのお支払いの3種類からお選びいただけます。
- (3) 所得税及び住民税の寄付金控除が受けられます。なお、入学した年内の寄附金は「学校の入学に係る寄附金」とみなされ優遇措置を受けられませんので、翌年1月以降にお願いします。

「心を清くし 愛の人であれ」の教育理念に基づき、引き続き教育活動及び教育環境の更なる充実に向けて取り組む所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。